

指定管理業務総合評価票

施設名	三豊市緑ヶ丘総合運動公園
指定管理者名	学校法人四国学院
施設所管課	三豊市教育委員会事務局スポーツ振興課
調査日時	令和5年5月25日(木):9時00分~12時00分

評価項目		評価基準	自己評価	所管評価
1 実施体制	施設管理	協定書等に従い、開館日や開館時間等を遵守しているか	B	B
	人員体制	仕様書等にに従った人員(人数、有資格者)を配置しているか	B	B
		スタッフのシフトは適正であるか	B	B
		事業計画書に則した内容・頻度で教育・研修を実施したか	B	B
	利用料金	利用者からの料金徴収や現金管理等が適切に実施されているか	B	B
	外部委託	外部委託の内容は、事前に市の承認を受けており、適切か	B	B
		外部委託事業者に対して協定書等を遵守させているか	B	B
	記録管理	業務日誌等を適切に作成・保管しているか	B	B
		点検、修繕等の履歴を適切に整備・保管しているか	B	B
	報告書提出	協定書等で定められた事業計画書・報告書等は提出しているか	B	B
	連絡調整	市や関係団体等との連絡調整を適切に行っているか	B	B
	危機管理	危機管理に関するマニュアルが整備され、定期的に訓練等をおこなっているか	B	B
		避難経路は適切に確保されているか	B	B
		事故、災害等の緊急時の連絡体制が確立されているか	B	B
	個人情報保護	個人情報等の管理は適切か	B	B
		個人情報保護に関する規定が整備されているか	B	B
		情報漏えいを防止する仕組みや対応策が講じられているか	B	B
情報公開	情報公開に関する規定が整備されているか	B	B	
	協定書等に従い、情報を適切に管理、公表しているか	B	B	
【1 総括】	実施体制に関する評価(標準19項目・本施設19項目)	B	B	
指定管理者の自己評価	R4年5月の体育館リニューアルに伴い、日中スタッフを常時2名体制とするため、新たなスタッフも加え、業務を再整理した。また月1回のスタッフミーティングで全員が顔を合わせるようにし、状況・課題等も共有・認識して、全体の適切な運営に努めた。			
施設所管課の評価	協定書に沿って適切に管理・運営ができている。夜間管理人も含め、スタッフ全員での定期ミーティングを実施することで、詳細な情報の共有もスタッフ全体できている。			
2 サービス等の内容や水準	利用者対応	施設の予約や利用等が、公平かつ適切に実施されているか	B	A
		言葉遣い、態度、服装等の接遇は適切であるか	B	B
	利用案内	ホームページ、パンフレット等は見やすく、適宜更新されているか	B	B
		利用方法をわかりやすく説明できる仕組みが構築されているか	B	B
	利用状況	施設の利用者数や稼働率は適正であるか	B	B
		利用促進に向け、積極的に取り組んでいるか	B	A
	事業の実施	事業計画書に則し、指定事業を実施しているか	B	B
		施設の目的に沿って、自主事業を実施しているか	B	B
		各事業の参加者数は、計画どおりであるか	B	B
		参加促進への取組みを積極的に実施しているか	B	B
	環境への配慮	省エネルギー、省資源等環境への配慮がなされているか	B	B
	苦情等の対応	苦情や要望等に対して迅速かつ適切に対応しているか	B	B
	利用者への調査	利用者満足度調査を実施し、その結果は妥当であるか	B	B
		利用者からの意見や要望等について、可能なものは反映させているか	B	B
	維持管理	仕様書等に従い、清掃、警備、衛生の点検・管理を適切に行っているか	B	B
		仕様書等に従い、施設、設備の点検・管理を適切に行っているか	B	B
		備品台帳により記録が適切に保管されているか	B	B
市と指定管理者の備品が明確に区別されているか		B	B	
必要な修繕を適切に行い、市に報告しているか		B	B	
【2 総括】	サービス等の内容や水準に関する評価(標準19項目・本施設19項目)	B	B	
指定管理者の自己評価	R4年度途中から、体育館及びサッカー場の予約状況をHPと館内掲示板にも公表する改善を行った。また昨年より課題となっていたサッカー場の申請受付方法も見直し、新たにメールでの申請方法に改善した。次年度は、アフターコロナに向けて新たな自主事業の取組み検討の再開、トレーニングルームの暑さ対策などを図る予定である。			

	施設所管課の評価	自己評価に記載のとおり、予約状況が分かりやすいよう改善され、利便性の向上はもとより、利用促進にも繋がっている。		
3 収支等	経理事務	指定管理に関する経費と団体の経費を区別して、適正に管理しているか 専用の口座、帳簿等を備え、適切に経理処理を行っているか	B	B
	予算執行	収支計算書に則し、適正に予算を執行しているか	B	B
	経費節減	計画どおりの経費節減の取組み、またはその他の取組を実施し、その効果があったか	C	C
	収支状況	事業収支は妥当であるか	B	B
	【3 総括】	収支等に関する評価（標準5項目・本施設5項目）	B	B
	指定管理者の自己評価	R4年度はインターハイ等の収入が大きく、わずかながら黒字となった。また昨年度は指定管理料に含まれる（精算の必要な）修繕費 300 万をほとんど活用できなかったが、今年度は種々修繕・備品等に活用できた。一方で、空調が付いても光熱水費は LED 照明になることで一昨年度と同程度と聞いていたが、100 万以上増加。トレーニングルームのエアコン使用による電気代の増が主な原因かどうか、空調単体の経費も確認が必要である。次年度は想定を超える物価高や電気代の高騰による支出増、秋からのカマタマーレの宝山湖使用開始による収入減などの課題もあり、その対応策を講じなければならない。		
	施設所管課の評価	エネルギーコストの高騰により、当初想定より大幅に電気代が増加したが、利用者増による収入の増及びインターハイやファイブアローズの試合など、大きなイベントによるまとまった収入があり、過去と比較し大きく収入が増加したことで、カバーすることができた。 平日昼間の稼働率向上、トレーニングルームの運用方法の検討、電気契約の見直し等、収支をより改善する余地はあるので、引き続き検討・取組みに努めていただきたい。		
【4 総合評価】	1～3の項目の総括による総合評価	B	B	
5 （提案・成果・課題等） その他特記事項	指定管理者	全体としては、新しくなった体育館の利用は、冷房完備ということもあり増えていると感じている。一方でこれまでのコロナ禍の影響もあり、新たな取組は香川県運動推進協会との連携事業としてのピラティス教室、たくまシーマックスとの連携事業のみとなっている。今後の物価高や電気代高騰、カマタマーレの活動の動向、天然芝維持管理の経費等の経費増が明らかなか中、どれだけ経費節減と市民の健康増進のための施策が行えるかが大きな課題と感じている。		
	施設所管課	施設の設置目的及び協定書に沿って、適切に運営できている。 アフターコロナにより運動需要が高まる中、引き続き積極的に集客策の展開に努めていただきたい。 また、提案書記載の「障がい者スポーツの振興」「三豊市政策部との連携」については進展が見られないため、残る指定管理期間において展開していくようお願いする。		

※評価区分

①評価基準	A（優良）：協定書、仕様書等の基準を遵守し、その水準よりも優れた内容である。 B（良好）：協定書、仕様書等の基準を遵守し、その水準に概ね沿った内容である。 C（課題含）：協定書、仕様書等を遵守しているが、内容の一部に課題がある。 D（要改善）：協定書、仕様書等を遵守しておらず、改善の必要な内容である。
②【総括】	A（優良）：評価基準がすべて B 以上であり、かつ A が過半数以上である。 B（良好）：評価基準がすべて C 以上であり、かつ B 以上が 8 割以上である（上記以外）。 C（課題含）：評価基準がすべて C 以上である（上記以外）。 D（要改善）：評価基準に D が含まれている。
③総合評価	A（優良）：【総括】がすべて B 以上であり、かつ A が 2 つ以上である。 B（良好）：【総括】がすべて B 以上である（上記以外）。 C（課題含）：【総括】がすべて C 以上である（上記以外）。 D（要改善）：【総括】に D が含まれている。